

東京医労連第74回定期大会

東京医労連第74回定期大会は、7月13日(日)から7月15日(火)の3日間で群馬県安中市にて開催されました。大会には38組合から代議員、傍聴者と役員を合わせて171人が参加し活発な討論が行なわれました。

大会では、小泉政権以来安倍、福田政権へと引き継がれてきた「構造改革」路線が、ワーキングプアや日雇い派遣に象徴される社会的貧困や格差を拡大し、社会保障費の強引な抑制により「医療難民」や「介護難民」を作り出す中で、国民の怒りがかつてなく大きく広がってきたことや、医師・看護師・介護職員をはじめとした人員不足が社会問題となり、「ストップ!地域医療・介護崩壊、医師・看護師・介護職員の大幅増員を!」の私たちの運動が世論に受け入れられながら大きく発展し、与野党すべての国会議員を巻き込んで政治を動かし始めた様子などがいきいきと語られました。そして、更なる医療産別運動の強化を保障するための組織拡大・強化に向けた積極的な発言も続き、運動を支える財政強化も強調されました。

以下、各討論課題ごとに大会参加者の発言を紹介します。



発行所 **東京地方医療労働組合連合会**

ホームページ <http://www.tokyo-iroren.net/>

メールアドレス mail@tokyo-iroren.net

東京都台東区北上野1-8-3 三木ビル4階

電話 03(5827)3181 1部50円、年間600円

編集・発行人 「医療のなかま」編集委員会 小島正雄

大会特集

大会宣言

私たちは、7月13日から15日の3日間群馬県機部温泉にて、第74回定期大会を38組合171名の参加で開催しました。生活やいのちを破壊する構造改革路線や憲法改定に対する不信感から、昨年7月の参院選では自民党が歴史的な大敗北をしました。医療現場は人員不足の中でも、2年連続で秋のナースウエーブを成功させました。私たちの粘り強い運動が医師・看護師不足を社会問題にさせました。その結果、08年診療報酬は本部分だけではありましたがプラス改定となり、医師養成数の見直しをさせるまでになりました。また後期高齢者医療制度も、野党の提出した後期高齢者医療制度撤廃法案が参議院で可決されました。闘えば政治は変えられると実感した1年でした。

大会では46本の発言があり、貴重な部分ではベースアップにこだわった組合の報告が多くありました。第一次回答に甘んじず5回にわたる団体交渉でベア3100円の上乗せ回答を勝ち取った精研労組。8年間のベアゼロ回答に歯止めをかけ、5000円のベースアップをさせた民医労はくと医療支部。慈雲堂労働組合は経営危機を職員に知らせ、職員の意識を高めた結果、経営改善と一時金カット分の支払いをさせました。パート労働法の改正を力に、非正規労働者の時給を上げさせた報告も複数ありました。また、成果主義賃金を導入させない闘いは今後も課題となっています。増員署名では、女子医大は当局に対し院内に常設の署名台を置かせてほしいと申し入れ「労組のみならず病院全体で取り組むべきもの」として協力が得られました。女子医大の取り組みは他の病院へも影響を与えました。東京医大では執行部2人で全医局を回り、研修医を含め100名を超える署名を集めました。院内だけでなく駅頭署名や地域労組の協力を得て、短期間で多くの署名が集まりました。

向日医大・佐藤監査は、大会の1年間の活動と春闘の取り組みを報告。組織拡大の取り組みでは、職場に足を運ぶ大切さを痛感。春闘では大学当局への経営要請を実施、また門前ビルを複数の大学で行なった。法改正署名では大闘でもベア獲得を目指すという学当局も協力し署名数を伸ばし、日大のナースコール個別設置では部会としての改善要望が効果を現した。各大学でも成果主義賃金導入の動きも強まる中、部会としての取り組みを強化したい。

精研・芦野傍聴者からは、ベア三千円を勝ち取った粘り強い春闘のたたかいが報告された。同日の団交で特別手当一人一万円を勝ち取った報告。また、新人給与と制度導入の動きについても報告。今年5月の経営危機から一転して年々改善傾向にある。25日の団交で特別手当一人一万円を勝ち取った報告。また、新人給与と制度導入の動きについても報告。今年5月の経営危機から一転して年々改善傾向にある。

向日医大・佐藤監査は、大会の1年間の活動と春闘の取り組みを報告。組織拡大の取り組みでは、職場に足を運ぶ大切さを痛感。春闘では大学当局への経営要請を実施、また門前ビルを複数の大学で行なった。法改正署名では大闘でもベア獲得を目指すという学当局も協力し署名数を伸ばし、日大のナースコール個別設置では部会としての改善要望が効果を現した。各大学でも成果主義賃金導入の動きも強まる中、部会としての取り組みを強化したい。

向日医大・佐藤監査は、大会の1年間の活動と春闘の取り組みを報告。組織拡大の取り組みでは、職場に足を運ぶ大切さを痛感。春闘では大学当局への経営要請を実施、また門前ビルを複数の大学で行なった。法改正署名では大闘でもベア獲得を目指すという学当局も協力し署名数を伸ばし、日大のナースコール個別設置では部会としての改善要望が効果を現した。各大学でも成果主義賃金導入の動きも強まる中、部会としての取り組みを強化したい。

向日医大・佐藤監査は、大会の1年間の活動と春闘の取り組みを報告。組織拡大の取り組みでは、職場に足を運ぶ大切さを痛感。春闘では大学当局への経営要請を実施、また門前ビルを複数の大学で行なった。法改正署名では大闘でもベア獲得を目指すという学当局も協力し署名数を伸ばし、日大のナースコール個別設置では部会としての改善要望が効果を現した。各大学でも成果主義賃金導入の動きも強まる中、部会としての取り組みを強化したい。



東京医労連第74回定期大会の様子

賃金闘争 発言ダイジェスト

社会的役割にふさわしい賃金を求め、全ての労働者を視野に、粘り強いたたかいを!!

向日医大・佐藤監査は、大会の1年間の活動と春闘の取り組みを報告。組織拡大の取り組みでは、職場に足を運ぶ大切さを痛感。春闘では大学当局への経営要請を実施、また門前ビルを複数の大学で行なった。法改正署名では大闘でもベア獲得を目指すという学当局も協力し署名数を伸ばし、日大のナースコール個別設置では部会としての改善要望が効果を現した。各大学でも成果主義賃金導入の動きも強まる中、部会としての取り組みを強化したい。

〈予備提案〉 第6次組織拡大強化3カ年計画について 組織拡大こそ最大の要求実現闘争

大会では、第6次組織拡大強化3カ年計画が予備提案されました。計画案では、ここ数年の組織減に歯止めをかけ、3カ年で確実に増勢に転じる組織拡大の課題と、ベテラン組合役員が定年が近くても組織を後退させずに役員体制の強化を図る課題について具体的な取り組みの提起がされました。

向日医大・佐藤監査は、大会の1年間の活動と春闘の取り組みを報告。組織拡大の取り組みでは、職場に足を運ぶ大切さを痛感。春闘では大学当局への経営要請を実施、また門前ビルを複数の大学で行なった。法改正署名では大闘でもベア獲得を目指すという学当局も協力し署名数を伸ばし、日大のナースコール個別設置では部会としての改善要望が効果を現した。各大学でも成果主義賃金導入の動きも強まる中、部会としての取り組みを強化したい。



大会での活動の様子

2008年秋闘中央委員会

日時：9月29日(月)18:30~
会場：大塚：ラパスホール
(JR大塚駅から徒歩5分)

白問答

テレビドラマの視聴率ランキング(六月三日~七月六日)は、篤姫、ドクターヘリ緊急救命、CHANG E、Tomorrow、と続いていた。私だけでなく、今なぜ政治と医療がテーマかと考えさせられる。今大会でもこのことに触れた話が出された。とりわけTomorrowは、地域医療の崩壊を題材に描き、私たちの運動にも大いにプラスになると誰しも思っていると思う。しかし医師不足は強調されても看護師不足が表に出ないのは残念でならない。日本医療政策機構の調査(今年一月)によれば成人の九割が医師不足を感じている。驚くべき数字だ!全医労支部から「自殺対策の基礎知識」と題した医療講座を自治体広報にも掲載し取り組んだら七一名が参加し、自分たちも驚いたという発言があった。すごいと思う。住民・国民の思いをどう伝えると何事も成功する!看護師増員の運動も、私たちの先入観を抜きに、住民・国民がどう思っているのかを正確に把握し取り組むべきだ。そこで、お台場などのイベント会場を数日間使って、看護師不足を訴える場として、国民の意識調査の場として、医療関係者と国民の交流の場として等々、複数の目的を重ねたイベントを開催できないだろうか。十月十九日計画の集會も、若干イメージと重なる点も、若干イメージと重なる点も、国民と共有できる企画を考えたい!映画づくり、国民向け書籍、川柳パンフ発行、キャラクターの普及・宣伝等。商業的あるいは無駄との批判を覚悟で提案したい。かつての看護闘争を映画にできないか!今ならもっと資金も集まるのではないか。国民の九割が看護師不足と感じてくれる運動を知恵と工夫で展開しよう。主演はもちろん……!

(MK)

東京医労連役員名簿

Table with 4 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 職種 (Job Type), 推薦組合 (Recommending Union). Lists various officers and their affiliations within the Tokyo Medical Labor Union.

大磯財政部長より、07年度 算内執行となったものの組合 決算報告と08年度財政方針が 提案されました。 07年度決算の特徴では、収 入面では1年間約二五〇名の登 録減により組合費収入が三六 〇万円余りの減収となり、予 算比、前年比共に下回りました。 組合費収入減が大きく、影 響し、収入全体でも昨年比、 予算比ともに下回る厳しい状 況です。支出部門では、各部 会の協力も得て予算を下回る 執行に抑えるなど、全体的な 支出を抑えて前年よりも支出 総額を減らしました。しかし、 地区協賛金などが予算 を大きく下回ったことは、十 分な活動が行なえていなかっ た反映でもあり、予算を下回 った結果を一概には評価でき ません。この結果、支出は予

福田政権は2割を切るような支持率にもかかわらず「社会保障費2200億円の削減」や社会保障の財源を口実に消費税増税もねらうなど「構造改革」路線をおしすすめています。そのもとで、医師・看護師・介護職員不足による地域の医療と介護の崩壊の危機は進行し、医療・介護の空白地帯が生まれ行き場のない「医療難民」「介護難民」がこれまで以上に広がって来ています。そして、原油をはじめとした諸物価の高騰が生活を圧迫し、格差と貧困の拡大、ワーキングプアの増大に拍車をかけています。まさに、これは国民のいのちと暮らしを切り捨てる政治です。

憲法を活かし、いのち・暮らし切り捨ての悪政の転換を求め、医療・福祉労働者の大幅増員で安全・安心の医療・福祉・社会保障制度を実現しよう!!

憲法を活かし、いのちと暮らし切り捨ての悪政の転換を求め、医療・福祉労働者を大幅に増やして安全・安心の医療・福祉・社会保障を実現しよう!!

2008年7月15日 東京地方医療労働組合連合会 第74回定期大会

大会役員名簿

- 選挙管理委員長 秋山祐一(民医労健和会支部)
- 救済委員 中部B(東京女子医大)
- 東部B(西新井病院)荒 勝郎
- 西部B(民医労健友会支部) 大塚 享
- 南部B(民医労南葛支部) 日影 一
- 北部B(民医労ほくと支部) 竹内 郁夫
- 多摩1(井の頭病院) 茨木 千恵子
- 多摩2(民医労健全会支部) 若森 剛
- 多摩3(結核予防会)山口 文
- 退任役員 武藤 勝/菅原 均/相澤幸 敏/相川和義/小澤トヨ子/ 鈴木千賀子/仁井真記/平田 潤/吉岡光二/前川昌人

関東医療労働学校 御嶽教室

日時：9月13日(土)午後1時～ 15日(祝)午後3時(予定)

場所：青梅市 御岳山荘

参加費：22,000円(予定額、2泊3日6食、資料代込み)

〈申し込み先〉 東京医労連 教宣部(03-5827-3181)

〈申し込み締切〉9月5日(金)まで